

くろつち便り

今月の内容

緊急！MQ9配備反対集会(2/9)／共助会GG大会(2/13)／野草折々50(材バギボウ)／9条の会新春講演会(2/20)／くろつち会会費／Series学校現場から⑤／ごてれつの独り言⑪／金曜集会(3/4)／**次回は4/1日 17:30～**



↑会報QRコード

緊急！MQ9配備反対



庁舎に向かって声を張り上げる集会参加者

2月9日午後、防衛局から来鹿し、市に無人機配備問題の説明をするという。この日は曇天で、最高気温は10度前後という寒い中、20数名が市役所前に集結した。道路沿いに庁舎に向かって並んで、市長室に届けとばかりに訴えた。



九条の会代表 松下徳二さん(部分)
「鹿屋は、平和都市宣言をしている市町村です。九州防衛局はこんなところに来る、戦争準備の説明をするなんてとんでもないことです。寧ろアメリカに、鹿屋は平和宣言をしている都市ですから米軍は来ることはだめですよ、説明に行ってください。鹿屋に来るべきじゃないんですよ。鹿屋になんか来る必要はありません。もう来ないでください。」



道下勝さん(部分)
「庁舎で市民のために働いている職員の皆さん、市民のために反対しようじゃありませんか。市民のために働いていることを自覚して、我々と一緒に戦っていきましょうじゃありませんか。我々は特別な人間じゃないんです。純粋に、米軍が来たら危ない、米軍は何をするかわからん、私たちの生活が脅かされる、そういったことにならないように、今、集会もしているんです。」



護憲フォーラム代表 下馬場さん(部分)
「市民の皆さん、断固として米兵が鹿屋の町を闊歩するような状況を許さないよう、みんなの力で取り組んでいきましょう。これからもこの反対運動の闘いを続けていきます。市長、共に戦っていきましょう。」



米軍はいらないの会代表 真島幸則さん(部分)
「無人機というのは、中東やアフガンで証明されているように、偵察だけの仕事ではありません。攻撃機にもなり得るんです。そしてその攻撃は、そこに配備された米軍がポンポンと攻撃するんじゃないんです。ここの鹿屋基地に配備された米軍は、ただ飛ばす仕事、整備をするだけです。コントロールするのは全部、アメリカ本土のペンタゴンですよ。市長にお願いします。鹿屋市民の命、県民の命、財産、安心保全、それを命がけで守ってください。」

長い闘いになりそうだ。
(関連記事4ページ、講演会)

次期市議選に向け、中馬美樹即もかんはつていきます

シュプレヒコールにも、熱ガこもっていた。
米軍の無人機配備、ハンターイ！ 無人機配備ハンターイ！
鹿屋に米軍は、いらないぞー！
～～、いらないぞー！
防衛省は協定を守れ～！
～～守れー！
協定の勝手な解釈は許さないぞ～！ ～～許さないぞー！
これ以上の基地負担は許さないぞー！ ～～許さないぞー！
中西市長、米軍を受け入れないでくださいーい
受け入れないでくださいーい！

2・25 自衛隊前大規模集会 報道の限界



「鹿児島に米軍はいらない県民の会」主催で鹿屋基地正門周辺で反対集会が開かれた。KYTは未確認だが各局とも夕方の報道で取り上げていた。各局の報道を見て、僕の視点からはMBCが一番丁寧だったように感じた。他局は50～65秒程度の取扱いだった。そのMBCでもMQ9の真の怖さや鹿屋が攻撃されることへの現実味は伝わって来ない。報道の限界だろう。



次期市議選に向け、中馬美樹郎もがんばっています

くろつち会費納入にご協力を 4~6月「納入月間の設定」

毎年4月から5月に総会を開いて、会場にくろつち会費を徴収していたのですが、一昨年から総会を開けずに、会費納入が滞りがちです。手配り人に集め

てもらったりもしていますが、会えないことも多く集金もなかなか進みません。

そこで**4月~6月を納入月間に設定**することになりました。くろつち会は私たちの会費で運営しております。ぜひご協力をお願いします。



金曜集会

3月4日、煙雨の中、かねてより少人数での集会がありました。急雨が心配で、通常のスタンディング抜きで、最近の情勢や岸田・安倍路線

のおかしさなどが出されました。悪天候の中、上山兄弟の参加や親子二世の参加などもありました。米永さんも参加され、次期市議選への意欲も表明されました。

2世代参加→



上山陸三さんの話

戦争時代を経験している私は今回のロシアの戦争に断固反対します。今朝八丁目郵便局に行って、日赤を通してウクライナに寄付してきました。

シリーズ その⑤ 再任用に 学校現場から求められること Part V



大黒小学校は2年前から高隈中学校区の3校（大黒小・高隈小・高隈中）で合同運動会を開催している。昨年はコロナでの開催だったため、種目を精選し午前中の開催だった。先日、来年度の合同運動会開催にむけての体育担当者の打合せ会があった。教育課程編成の時期ということだけでなく、それぞれの体育担当者が、今年の人事に少なからず影響するのはと予想される・・・？からだった。それほど3校の合同運動会を実施するには入念な打ち合わせが必要なのだ。コロナも考えて3パターンの実施内容と方法を検討していると、「是非入場行進を実施して欲しい。」という要望があった。

要望してきたのは打合せの様子を見ていた中学校の校長だ。提案者も一瞬黙り込んだが、「それは、前年度の会でやめましょうと…」と言いかけると、「そこを何とか実施の方向でやっぱり入場行進があったほうが運動会らしい。」というのだ。提案者も困惑し、計画を変更するしかないと言うような素振りを見せ始めた。3校合同で大変なことは、練習時間が十分保証されないということだ。9月に入ってから合同練習は3回だけ。しかも、昨年の練習は3回のうち2回は雨天のため体育館での実施だった。体育館での実施となると十分な練習ができないことは想像できると思う。小中合同のリレーや表現運動、団体種目

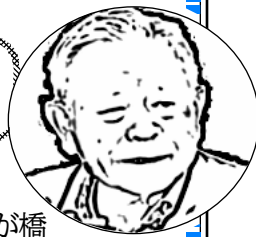
など編成や入退場と限られた時間で消化するのは大変難しい。小学校はバスを利用し、中学校に移動しての練習なので、雨天時だからと言って簡単に変更することができない。そこに、新しく入場行進を実施するなど考えられない。「各学校で練習し、ちょっと合わせればできる。」と言った校長にかちんときて、「各学校で練習していることはほかにもたくさんある。しかも、新しく種目内容も入れ替えがあり練習量も増える。だからできません。昨年の練習だけでもどれだけ大変だったか分かりますか。」と返した。（ちょっと大きな声になったような気もしたが）新しいことをやりたがるのは、常にメリットしか見えない人間の発想だ。（文：関下俊郎）



野草折々-50-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

オオバギボウシ (ユリ科)



大葉擬宝珠（オオバギボウシ）。ギボウシの名は、若い蕾の集まりが橋の欄干につけてある擬宝珠に似ていることによる。写真は2009年7月25日 滋賀県伊吹山で



三条大橋の擬宝珠。刀傷は幕末、池田屋事件でついたと言われている。



共助会GG大会

鬼ヶ原さんは、唯一人の現職参加者でした。密かにBB賞を狙っていたようです。

繁昌昭夫さん。何と、ホールインワンを2回決めて33打で、堂々の一位でした。



■くろつち会の予報士 No. 1

「三寒四温」というのは、元々は中国北部～朝鮮半島の冬の特徴を表した言葉らしいが、ご存じのように日本では2～3月、ちょうど今頃の気候の特徴を表しますね。天気が移ろいやすい様でもありません。想像するに、大会当日の13日迄何日も、係の人は移ろいやすい天気、くるくる変わる予報を気にしてやきもきしていたに相違ありません。

13日の午前中は予報通り雨が降っていて、誰もがこれじゃあ大会はとても無理だろうな、と思っていたと思いますが、午後からは大丈夫と踏んだ予報士矢野さん、グッド判断だったと、皆さんの評価。

■ 開会式

運営委員長 鬼ヶ原健一さん



年一回のこの大会を楽しみにしてやってきました。昨年はBB賞をいただきまして、今年も何か賞がもらえたらなあと思っています。

大会実行委員長 飯山春男さん



今日一日、楽しんでください。先攻・後攻はじゃんけんで決めてください。それから今日は、4打打ち切りです。

■ 試合の様子

それぞれ散っていき、予定通り始まりました。



あいた、こらしめた、...

トップバッター、心配そうにボールの行くえを目で追っています。茶園さんはこの日、2ラウンド目でホールインワンを決めています。

ホールインワン賞は7人、雨の後でボールが走りすぎて、いつもより少なかったかな？



ホールインワン賞の内さんと山元さん

2位から4位までの3人は41打で同点。こんな場合は、ホールインワンの数で決めるというルールがあるんだそうです。それで、若松さんが2位決定。それで決まらない場合は、2打目の数、それでも決まらない場合は年齢で、という細かいルールがあるんだそうです。なーるほどと感心！

惜しかったのは42打の森幸子さん。ルールにより、入賞は果たせませんでした。

鬼ヶ原さん、開会式で「置網を言う」が如く、漁獲を期待していたようですが、何とその通りに！

本人もまさかの2年連続BB賞。表彰式では何か照れくさそうでした。



雨上がりで心配されましたが、いい一日になりました。参加者の皆さん、それから運営および実行委員の皆さんご苦労様でした。

ちょっとしたお話し

まだGGが開かれるかどうかははっきりしない時点で、参加予定会員の気持ちは揺れていたのだと思います。

■A会員「1週間延期されたら困るなあ。20日は昼から馬毛島問題の講演会があるから、そっちに出たいし・・・」

しかし事務局長としては延期の際、20日午前大会を実行、という荒技を考えていたそう。ともあれ実施されましたが、A会員が喜びの余り小躍りしたかどうかは不明です。



■B会員「大会は雨の後になるから、ボールがどう転んでいくかわからないそうよ。うまい人でも、変なところに飛んでいったり、そうすると自分みたいにもいつも点数の悪い人にとっては、ビッグチャンスになるかもしれない。」

うーん。捕らぬ狸のなんとやら、結果はビッグチャンスにはならなかったようです。ひょっとすると、雨上がりで調子の狂った方もいたかもしれませんが。(文責 榎園)

結果は次の通り (敬称略)

- 1位 繁昌 昭夫 33打
- 2位 若松 俊実 41打
- 3位 山元 良三 41打
- 4位 松尾広富美 41打
- 5位 市之瀬治美 42打
- BB賞 鬼ヶ原健一 60打
- ホールインワン賞

鬼ヶ原健一、茶園亮一、若松俊実、市之瀬治美、山元典枝、内 俊郎 繁昌昭夫 (何と2回！)

次期市議選に向け、中馬美樹郎もがんばっています

新春講演会

2月20日、九条の会おおすみ主催で講演会が行われた。昨年はコロナ禍で中止になったので2年ぶりです。

無人機問題に直結している馬毛島問題を、ということで市民・団体連絡会会長の三宅公人さんを予定していましたが、急に現地で市長との対話が入り来られなくなり、代わりに清水捷治さん（連絡会幹事）と迫川浩英さん（事務局次長）が来られて、馬毛島の現状を話されました。

2002年というところ



次期市議選に向け、中馬美樹郎もがんばっています

9条の会おおすみ 新春講演会

馬毛島の軍事基地化を許さない

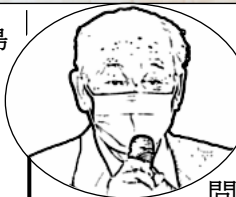
馬毛島への米軍施設反対が市民・団体連絡会 会長 三宅公人さん

の前ですが、開発前の馬毛島は森林が島を覆っていて自然豊かな島だったんですね。次は講演の最後の部分だけです。



迫川さん（部分）

そもそも抑止力の考え方に、日本とアメリカでは大きな違いがあります。アメリカの場合は、お互いと軍事競争していく中でいつかは破られる。そういった場合には戦争まで想定して抑止力を考えている。しかし日本は基地さえ作れば抑止力になると考えている。戦争まで考えているアメリカに引っ張られて憲法まで変えようとしている。本気で戦争をするかどうかを今問われています。大事なのは、敵を作らないということです。



清水さん（部分）

馬毛島問題は、私ども西之表市民の一ローカルの問題では済まされません。戦争への道か、平和への道か、重大な岐路に立っている。私たちは孫子の代に対しても平和な日本を引き継いでいく。そういう点では鹿屋の無人殺人機、これを許すかどうかの闘いと、全く同じ闘いです。もうひとつ、私ども西之表市民の日常から見た視点で言うならば、馬毛島は、或いは西之表、種子島は、先祖代々先達が守り引き継いできた豊かな平和な平穏な静かな島なんです。これらを絶対に失うわけには参りません。

講演参加者約50名、貴重な時間を過ごせました。

ごてれつのごてれつ 11

「すごいトシヨリ」

2階に行こうとすると「何を持って行くの？」と妻。何と手にTVチャンネルがある。2階に何しに行こうとしていたのかの記憶が脱落して、せかせかしていたんだろうか。

2019年の7月号で、ドイツ文学者の池内紀氏の著作「すごいトシヨリBOOK」(毎日新聞1000円)の中で「トシをとると楽しみがふえる」<自分の主治医は自分と心得る>などと述べていて、いずれ紹介したいと書いたけど、そのままになっていた。

左の「老化早見表」は池内氏が表したものだ。先ほどの僕はカテゴリ3の「一時的記憶脱落症」だ。失名症は日常茶飯事、携帯がいつもの場所より少し変わっただけで「携帯がない」と大騒ぎするという「同一志向症」などなど、身に覚えがある症状が多い。

別に悲観はしていないけど、池内氏みたいに「トシをとると楽しみがふえる」なんて達観した気持ちにはなれないし、「すごいトシヨリ」には到底なれそうにない。

■「民意」は死語に

某教授がついに先だってTVで指摘していたが、沖縄で反対の声が多いにもかかわらず、

辺野古の埋め立てを進めていく、住民は次第に反対してもどうにもならないと思うようになって、それなら補助金をもらう方がましだとなる、すると政府は住民の理解を得られて埋め立てが民意だと主張する>というあらまじだった。馬毛島問題も同じ構図だ、と指摘。恐ろしいことだ。

「言い訳と軟膏は何にでもくっつく」という言葉があるそうだが、どんな言い訳でも通用するということだろうか。そのうち国語辞典からは「民意」という単語がなくなり死語になるのでは。

■疎髪

頭部に葉を塗布してもらう際、頭頂を触りながら「ここ、毛がずいぶん薄くなったね」と妻。亡母が「薄くなったね」と言っていたのを思い出すが、それは前頭葉部分だった。

ああ、遂に頭頂部分まで薄くなってきたか。と内心思いながらも、妻には素知らぬ顔でひと言「ああ、そうか」。

老化早見表

(池内紀)

カテゴリ1

忘却忘却症

カテゴリ2

年齢執着症 ペラペラ症
失語症 指図分裂症
過去捏造症 記憶脱落症

カテゴリ3

失名症 横取り症 同一志向症
整理整頓症 せかせか症 過去すり替え症
一時的記憶脱落症